

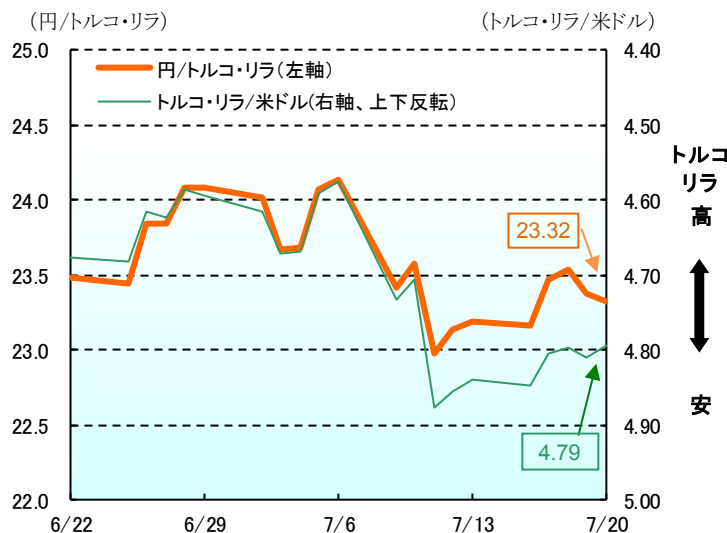
【2018年7月14日～2018年7月20日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに上昇しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

前週に発表された新政権の閣僚人事は市場に嫌気されたものの、24日（現地）の金融政策決定会合まで材料が乏しく、また市場の注目がトランプ米大統領の言動に移ったこともあり、一旦様子見姿勢となりました。発表された経済指標では、6月の財政収支は赤字拡大の趨勢を示唆する結果となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年6月22日～2018年7月20日）

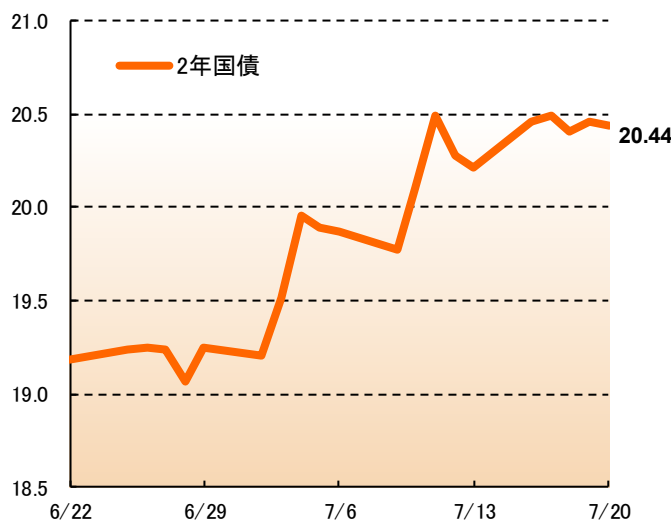


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、24日の金融政策決定会合が注目されます。市場では平均1.00%ポイントの利上げが予想されていますが、新政権の閣僚人事およびエルドアン大統領の実権強化を考慮すれば、トルコ中央銀行による金融引き締めは容易ではないため、据え置き予想も根強くあります。金融引き締めが行われるか、また行われた場合も市場が納得する内容かどうか注目されます。経済指標では、7月の消費者信頼感指数や設備稼働率などが発表される予定です。

【トルコ 金利推移】（2018年6月22日～2018年7月20日）



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>